

見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和5年3月16日 NO.12

春の陽を浴びる苗（ナーセリー）

イングリッシュガーデン施設

「教職」という人を育てる尊い仕事

教育センター運営委員（今町小学校:校長） 吉田 孝則



「先生、久しぶり！」「先生、会いたかった。」「みんなで来たよ。」新採用校で、初めて卒業をさせた子どもたちが二十歳になり、突然大勢で自宅を訪ねて来たのです。聞けば、成人式の日、「先生にみんなで会いに行こう。」という話になったとのこと。当時の授業、クラス、修学旅行、部活動、現在の大学生活など、8年ぶりに会った教え子たちとの会話は、尽きることはなく忘れられない思い出となりました。今から27年前の出来事ですが、『教職はやりがいのある仕事であること』を、この教え子たちの来訪が改めて自覚をさせてくれて、「これからも頑張ろう」と思ったのです。

先輩たちも教職の素晴らしさを教えてくださいました。2校目に勤務した時の教育長との思い出です。下校する子どもを、玄関で見送っていた時でした。「なあ吉田くん、私はね、ランドセルを背負っている子どもの後ろ姿を見ていると、その子どもの親の願いが見えるんだよ。」と話しかけられました。その時のことが、今でも心に残っています。授業を見ていただいた際は、B5用紙26枚もの授業記録と、分析資料をいただきました。教職は人を育てる尊い仕事であり、「自分はこの子どもたちの担任として、授業力・学級経営力をもっと身に付けたい」「力を付けて、学級の子ども全員を成長させたい」と、強く思いました。

今、学校現場は忙しいです。しかし、人を育てる教職という仕事を選んだ私たちは、授業力や学級経営力、さらに、自分の人間性を高めていかなければなりません。学習指導要領の基となる平成28年12月中央教育審議会答申では「主体的・対話的で深い学び」の実現を求めています。子どもの意識・実態を大切にしながら単元を展開し、学ぶことで得た事実・考えを仲間や追求に関わった人々と意図的に交流させることで、子どもは自分の学びを広めたり、変容させたりして、より学びを深めます。学びによる成長・変容を自覚する姿へとつながります。

子どもは、「先生の授業だから分かる、楽しい」と思えば、自ら学びます。子どもが、「先生が好き、先生は憧れの存在」と思い、「先生は自分のことを見てくれる、先生は自分の子どものことを見てくれる」と、子どもや親が思えば、子どもも親も信頼してくれます。

教育者の私たちは、子どもにとって本当に必要なことは質を落とすことなく、必要無いことの見直しを図ったり、知恵を出し合って工夫改善したりすることが重要ではないでしょうか。そして、各自の働き方を充実させるために、タイムマネジメントの視点も意識したいものです。

巻頭写真に寄せて 「開園を待つ花が育っていた」

◇3月の2週目に入ると気温が15度を超える日が続き、この陽気に誘われ、お昼過ぎにイングリッシュガーデンを訪ねた。入口付近のベンチに、隣接のカフェでランチをした後、日向ぼっこをしながらお話をされている皆さんがいた。そんな人たちの間を抜け、急いで入口へ向かうと、入口は「冬季閉園です」の看板(写真上)がかかり、鉄柵がされていた。◇がっかりしながら、「春を感じる花が咲いていないものか」と、ふと足元を見ると、水仙やクロッカス(右写真)が美しく咲いていた。さらに他にないかと園内を覗きながら、第二駐車場を進むと、冬囲いの木々の間に、椿(写真4枚目)が、垣根沿いに植えられていた。開園中であれば、バラをはじめ種々の花に目がいき、椿には気付かなかったに違いない。◇閉園で得した気分になりながら新幹線高架橋側に目をやると、温室が二つ見えた。イングリッシュガーデンは何回も訪れているが、この施設は知らなかった。近づいて中を覗くと、パンジーが育苗されていた。ここがナーセリー(育苗施設)で、イングリッシュガーデンだけでなく、見附市の学校や保育園等の公共施設や道沿いの街路樹用に、草花を育苗している施設である。10月に各学校へ配られたパンジーが今、玄関前で美しく咲いているが、この公共施設等へ配布した後に、新たに種蒔きをした苗(巻頭写真)が咲き揃い、陽光を浴び、出番を待っていた。◇さて、過日、横浜市の「横浜イングリッシュガーデン」へ出かけた。(縦長左写真)ここはバラが中心で、春や秋の花の見頃の時期は、多くの人で賑わう様子が、ニュース等で伝えられる庭園である。写真を撮ったローズトンネルは、種々のバラで埋め尽くされるフォトスポット(縦長右写真)である。現在は次の花へ向け、十分に剪定された枝がパイプに括られているのみであった。入園料は花の少ないこの時期が700円、花の見頃には1200円になる。みつけイングリッシュガーデンは「僅かな協力金で成り立っている素晴らしい施設だ」と、横浜で考えた。

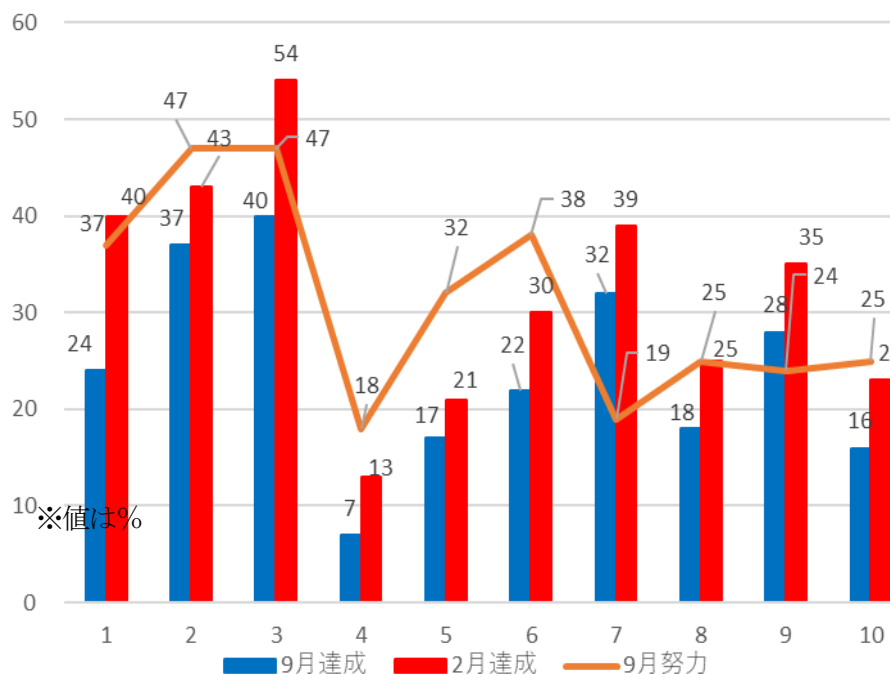


コラム = 仏壇のばあちゃんに報告しました =

◇一年締め括りの三月。「この一年はどうでしたか?」と尋ねられても、年度末は卒業式・終業式・離任式と忙しく振り返る余裕もないですね。年度末休業になり校務分掌の発表があると、新年度に気持ちが向かい、じっくりと省みることは難しいです。ですが、学級経営はしっかりと振り返って欲しいものです。個人の指導要録や通知表は、よく考えて書かれるでしょうが、学級を、一年間の成長と伸び悩みについて、全体で振り返って欲しいのです。子どもたちを人間関係の中で見つめての願いです。子どもの成長は早く、興味や友人関係が変わっていきます。この中で、傷ついたり悩んだりする子どもがいます。学年が進むと多くなる傾向です。人間関係で全員を見ると悩みが見えてきます。その子どもに担任自らが「心の居場所になること」を教えてください。不登校の原因は一人一人違いますが、人間関係の悩みが多いのは事実です。◇さて、私が新採用校(隣接市のF小学校)で、担任した子どもたちは今年50歳になります。その中で、中学校で不登校になった子ども(S君)がいます。このとき、転勤をして違う地域に住んでいた私に、S君の祖母が連絡をくださり会いに行ったのです。おとなしい性格で、自分からは話しませんでした。嬉しそうな表情でいました。中学校は行けない日もありましたが、高校に進み卒業し社会人になりました。年賀状は出しても来ない年もありましたし、「元気か」しか書けませんでした。今年は「見附の教育センターに勤めている」と、一言添えました。◇一月の半ば、彼が私の年賀状を手に、職場を訪ねてくれたのです。四十年近く経ての再会は驚きと喜びでした。夜、聞いたアドレスにお礼のメールをすると、「帰ると、仏壇のばあちゃんに報告しました」の返信がきました。『教師はいいよ』と、教師の先輩として思います。(こ)

令和4年度「指導力向上ドック」の結果から

R4 見附教師の10か条 達成状況自己評価



学力向上に向けて
授業中にこれだけは大切にしたい

見附 教師の10か条

- ① 児童生徒の問いや願いを大切に授業を行います。
- ② 意図が明確な発問とわかりやすい指示を行います。
- ③ 関心意欲を高め、学びを深める教材や教具の活用を工夫します。
- ④ 考えの相違やつながりを明確にするなど、思考を深める授業を行います。
- ⑤ 自他の考えを可視化したり、学びを可視化したりして、考えを深める授業を行います。
- ⑥ 児童生徒同士や教師との対話的な学びを生かして、授業を進めます。
- ⑦ 学習内容に応じて、学習形態を工夫します。
- ⑧ 基礎基本の定着とともに、活用力の向上を図る場を充実させます。
- ⑨ 机間支援で一人一人の学習状況を把握し、個別の支援に生かします。
- ⑩ 本時の振り返りやまとめを行い、次時や家庭学習につなげます。

日頃から意識して、大切にします！
「学力向上」の土台

- 深い教材研究と事前準備
- 児童生徒一人一人の発問把握と日々の授業改善
- 学習指導要領に基づいた学習指導計画づくり
- 学習指導要領の活用
- 適切な発問と問いの活用
- 児童生徒の学びを深めるような授業
- 児童生徒の学びを深めるための振り返り、評価、評価



【見附市教育委員会・見附市校長会・学力向上プロジェクト推進委員会「師がく」教育アドバイザー】

一人一人の教師が「日々の授業」を自己診断する「指導力向上ドック」の集約をしました。「指導力向上ドック」から見える傾向について、2つ説明をします。

1 児童生徒一人一人の学びを確実に把握し、授業における「指導と評価」の一体化を目指す教師が増えている。(項目 9, 10 から)

学習指導要領で示される「主体的な学び」「深い学び」には、子ども自身が「どのように自分は学んできたか」「学んだことは自分にとってこんな意味がある」と省察する場面の設定が大切です。そのため、授業の中で子どもたち一人一人の学びの様子を確実に把握し、評価することが「深い学び」の成立や、「主体的な学び」に向かう資質、能力の育みに欠かせないと考えていることが分かります。

2 「協働的な学び」を進める中で、対話を通じた思考の深まりを目指す教師が増えている。(項目 4, 5, 6 から)

「深い学び」を実現するためには、「協働的な学び」が欠かせない視点となります。そのため学習形態の工夫や、タブレット端末を有効に活用し、自他の考えを可視化したり、対話的に学ぶことを意識して、授業に取り入れたことがアンケートから読み取れます。

「指導力向上ドック」は、一人一人の教師が授業改善の視点を持ち、客観的なアドバイスを得ることができる「師がく」と連携した取組です。

「師がく」は、授業改善の視点に欠かせない、学級の様子や子ども理解の視点についても、気軽に相談できる場としても位置付けています。次年度も「指導力向上ドック」(見附 教師の10か条)や「師がく」を活用し、授業改善を進めてくださいますようお願いいたします。

令和4年度「4時から夢塾」を振り返って

回	内 容	実施日	講 師	参加数
1	教師が科学の世界にどっぷりと	5/31	県立教育センター篠田英指導主事	2 3
2	子どもの心の健康について －個人的不登校哲学論－	6/ 9	キャッツこどもクリニック 磯部賢論 院長	3 9
3	学校運営における学校事務職員の役割	6/21	見附教育センター 小林 修 先生	2 8
4	外国語5年「私の一日」を伝えよう	6/22	師がく指導者 小林恵子 先生	1 7
5	一人一台端末を活用した学習改善	7/ 5	附属長岡小学校相澤将貴教諭	6 7
6	不登校傾向の子どもへの上手な対応	7/14	心と学びの教育支援センター 吉沢嘉一郎 代表	3 5
7	ネット社会の光と影と,それでも使わなければならないタブレットのお話	9/ 2	新潟市立木崎小学校 島津弘次 校長	3 7
8	子どもの成長と運動	9/13	新潟県立大学 伊藤巨志 教授	3 3
9	授業参観 中学国語(1年古典の始まり)	10/11	附属長岡中学校 伊藤 裕教諭	1 4
10	授業参観 小学国語 (3年 どちらが生卵でしょう)	10/18	附属長岡小学校小湊雄一教諭	2 4
11	授業参観 中学英語(1年 助動詞will)	10/21	附属長岡中学校佐藤正秀教諭	1 3
12	授業参観 小学算数(4年 概数)	11/30	附属長岡小学校瀬下真心教諭	2 9
13	組織作りとリーダーの役割	12/ 8	見附中学校 多田 茂 校長	2 8
14	教師って やっぱあ いいよね!	1/17	南 中学校 深澤正英 校長	4 0

合計参加数 4 2 7

1 今年度の重点

- 優れた実践者を招聘し、「わかる・楽しい授業」となる授業力向上を目指す講座の設定。
- 文科省が推進する事業講座の設定。
- ・GIGA スクールの研修(タブレット端末活用)の実施。・外国語を重点においた研修の実施。
- 不登校傾向の子どもへの上手な寄り添い方講座, 子どもの心身の健康講座の設定。

2 一年間を振り返って

- コロナ感染症が続く中, 参加者数を絞ったり, 座席の間隔や会場の換気, 手の消毒等を十分に行い, 感染症対策を心がけた。
- 今年度も夏季休業中の特別講座を見送る等, 講座数を14講座に絞り, 開催した。
- 幅広い分野から講師を招聘することができ, 教員の授業改善や指導力向上, 資質向上を図る講座が実施できた。
- 医師や大学教授, 民間の教育支援センター代表による「子どもの心の健康」「不登校傾向児への上手な対応」「子どもの成長と運動」の3講座は, どれも学びが多くて, 学校現場に有効な内容であった。
- GIGA スクール研修の「ネット社会の光と影と…」は参会者に大きな刺激を与えて頂いた。

3 次年度に向けて

- 次年度も教職員の要望に応じて, 授業力や資質の向上を図る講座の開設に努めたい。
- 講座数や時間等, また悉皆講座はやめ, 参加者の負担にならない実施をめざしたい。

3月

科学教育部



《今月の1枚》
フクジュソウ（葛巻にて）

【誰もが使える理科室環境に~できることから少しずつ~】

年度末の事務処理等で、先生方は忙しくしていることと思います。私たちが仕事をする環境を整えることはとても大切です。理科に関しては、理科室・準備室・薬品庫などの環境を整えると、ゆとりをもって授業に臨めます。今年度、授業をしていて気になったところ、例えば、「この道具がなかった!」「教具の場所がわからない!」などを解決しておく、来年度の授業がスムーズです。

<薬品や実験道具が不足>

今年度中、もしくは来年度スタート時に注文するなどしましょう。あるいは、次の担当者に確実に引き継ぎましょう。

<教具の場所がわからない>

教具の在る場所がわかるように、名称を記しましょう。理想は大人も子どもも場所がわかることです。場所がわかれば、自分たちで準備ができるようになります。子どもたちに、考えて動ける力が育ちます。

<不要教材を処分>

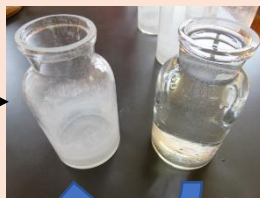
理科室の中には、「いつのものだろう?」といった実験の教材として使わないものが眠っていることがあります。1年間使用しなかったものは今後も使用しない可能性が高いです。時間のあるうちに、処分をしておくで理科室もスッキリします。

<教具の汚れもきれいに>

なかなか落ちにくい汚れも、薬品を使うと落とすやすくなります。年度末の清掃にも役立つ薬品もあります。なぜその薬品で汚れが落ちるのかといったことも、生活の中にある科学ですね。



汚れた
集気びん・・・



ビンにうすい塩
酸を入れる
30秒~1分で
次のビンに移す
だけ!




簡単にきれいになります!

ひと手間かければ、先のふた手間が減ります。誰もが使える理科室環境にすることで、未来への投資になります。できることから少しずつ変えていくことで、自分だけでなく、職員全体の負担が軽減されていきます。

【小学校の新年度の最初の学習準備】

4月になると、新しい学年での授業が始まります。もしかしたら、理科を初めてもつ方も、担当学年の授業が初めてという方もいるかと思います。今年度の内に理科主任の先生を中心に、校内全体で、教材の準備を計画しましょう。各学年で考えられるものは、次の通りです。

<p>3年生</p>	<p><u>1 しぜんのかんさつ</u> <u>2 植物を育てよう</u> <u>3 かげと太陽</u> <u>4 チョウを育てよう</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>虫めがね, 観察板</u> ・<u>ホウセンカの種, ヒマワリの種</u> 水につけておくことで発芽率を高めることができます。 ・<u>遮光板, 温度計, 方位磁針(北を指しているか)</u> 温度計は教科書では、アナログを使用していますが、学習指導要領では、デジタルの使用が可能になっています。 方位磁針は、1年間使わないと南北が反対になっているものもあります。磁石を使って直しておきましょう。 ・<u>キャベツの苗</u> モンシロチョウに卵を産ませます。気温の影響でチョウの成虫の発生時期も早いかもしれないので、早めの準備をしましょう。 
<p>4年生</p>	<p><u>1 季節と生き物の様子</u> <u>2 1日の気温と天気</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ヘチマの種</u> 発芽が安定しないことがあるため、予備が多めにあると良いです。 ・<u>温度計, 百葉箱など気温の観察道具</u>
<p>5年生</p>	<p><u>1 ぶりの運動</u> <u>2 種子の発芽と成長</u> <u>3 魚のたんじょう</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>振り子の実験器</u> 予備実験をして、正確に動くかどうかを確かめましょう。 ・<u>インゲンマメの種, ヘチマの種, アサガオの種</u> つるなしのインゲンマメを選ぶと場所を取りません。 ・<u>メダカの水槽</u> 新年度も、希望する学校にメダカを配付します。メダカが安心して過ごせる水槽を用意しておきましょう。
<p>6年生</p>	<p><u>1 ものの燃え方と空気</u> <u>2 人や動物の体</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ろうそく, マッチ, 線香, 集気びん, 石灰水, 気体検知管, 気体ポンペ(酸素, 二酸化炭素, 窒素を班の数+予備2~3本)</u> 授業までに、準備をしておきましょう。 ・<u>でんぷんとヨウ素液, 気体検知管</u> 気体検知管は、デジタル気体検知管も貸し出すことができます。ぜひご利用ください。

来年度、新潟県地区理科教育センター連絡協議会は令和5年度で制度発足60周年を迎えます

右の図は、60周年を記念したアイコンです。今年度は60周年記念事業として、小学校と中学校を対象にした講演会を予定しています。多くの参加をお待ちしております。

